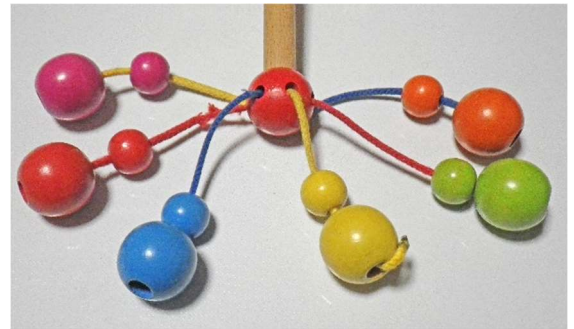


## 手押し メリーゴーランド の修理



こんなおもちゃが来ました。  
長さ50cm程の棒の先に車輪・飾りが付いています。

故障は ①棒が外れていたなので、接着しました。  
②飾りの紐が切れかけていました。  
関西の我々から見ると、まるで秀吉の千成瓢箪ですね。



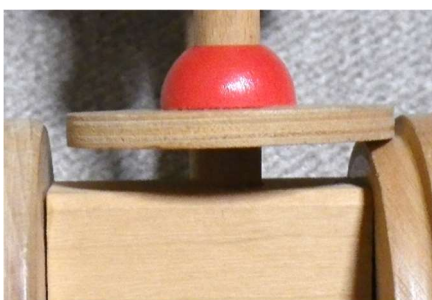
故障③ 二つの車輪のゴム輪が無くなっていました。

②も③も、いずれも修理としては難しいものでは無さそうですが、  
それよりも、きれいな木のおもちゃなので、調べてみました。



車輪に Selecta Spielzeug と刻印がありました。  
ドイツ語で「厳選玩具」というような意味でしょうか。  
ホームページによれば、1968年設立の木のおもちゃ  
メーカーで、通称は「セレクトタ」社だそうです。

このおもちゃは、なんと「手押し・メリーゴーランド」  
と名付けられていました。  
曰く「まるで遊園地のメリーゴーランド。歩くスピードに  
合わせてビーズがぱっと開きます。お母さんの掃除機かけの  
真似事あそびです。歩くことが楽しくなるでしょう。」と。



車輪の回転は上部の円板を回し、  
それがビーズ（ひょうたん）を振り回すのです。

故障②の紐は、外側が袋打ちに編まれた形のもので、スピンドル紐というもの だそうです。

オリジナルは2mmφでしたが、ネット調べても、3mmφ以上のものしか見当たりません。結局、手芸品店で「細紐」という3mmφのものを買い、取り付けました（1m100円程）

オリジナルに比べると、やや重い感じがするのは、否めませんね。



故障③ 車輪に付いていたゴム輪は、内径80mm、太さ3mmφ程と考えられます。ホームセンターで「オーリング」を探しましたが、内径80mmのものは、太さが6mmφ程もあり、しかも1個が3~400円するので諦め、結局バンコードで作る事にしました。

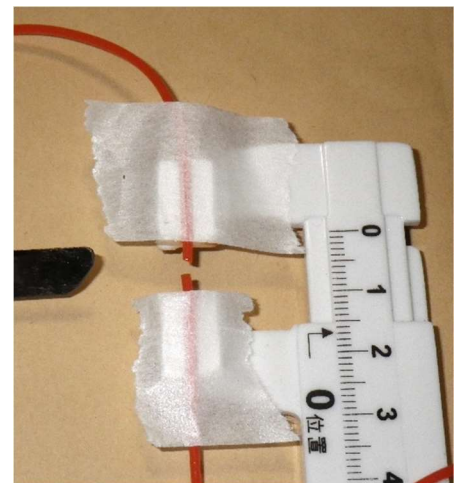


バンコードは、バンドー化学製のポリウレタンのベルトで、自由な長さのものが、簡単に熱融着で作れます。

おもちゃ病院でもしばしば利用しています。詳しくは、このホームページの「バンコード丸ベルトの作成法」をご参照下さい。

ここでは、熱融着の為の便利な道具だけを紹介しておきます。百均で購入したプラスチック製のノギスを改造したもので、上下の溝に、融着する位置を合わせたバンコードをはめ込み、少しだけ離して仮止めしておきます。

融着の作業は、一瞬の内にしなければなりません。カッターの刃を熱して間に差し込み、ノギスを素早く閉じ、バンコードを溶かしながら、刃を引抜いて融着します。



3つの故障を直した「木のメリーゴーランド」は、こんな風に回ってくれました。

以上